

三重県

- 三重県の商業集積地区の立地は分散 -

三重県の事業所数をみると、卸売事業所の22.9%、小売商店の14.5%を四日市市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の37.9%、小売業の19.0%を四日市市が占めています。

小売商店の立地をみると、その他地区が32.3%と最も高くなっています。次いで、商業集積地区と住宅地区がそれぞれ30%弱の割合となっています。商業集積地区の内訳では市街地型、住宅地背景型、ロードサイド型、駅周辺型がそれぞれ20%を超えており、立地にばらつきがみられます。また、ロードサイド型の割合は商業集積地区の22.8%となっており、他県に比べて割合が高くなっています。

卸売販売品目をみると、「軽油」、「他の化学製品」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

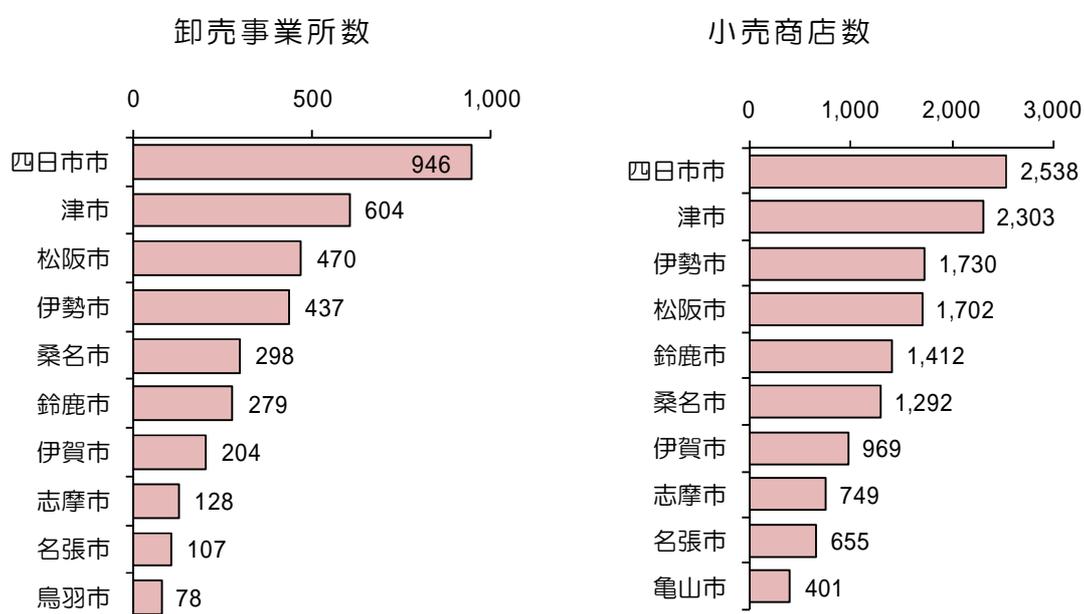
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
三重県計	21,602	24	150,728	23	3,940,384	26	
卸売業計	4,136	23	33,316	26	2,007,855	29	
業 種 別	各種商品卸売業	12	34	81	38	2,245	41
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	8	38	33	42	372	45
	衣服・身の回り品卸売業	94	32	432	40	11,034	39
	農畜産物・水産物卸売業	644	23	5,407	25	321,796	31
	食料・飲料卸売業	615	19	5,267	28	234,034	33
	建築材料卸売業	519	25	3,576	27	192,935	29
	化学製品卸売業	145	26	1,013	28	80,779	26
	鉱物・金属材料卸売業	193	22	1,900	23	291,737	21
	再生資源卸売業	129	23	1,153	17	38,825	22
	一般機械器具卸売業	330	28	2,711	23	151,790	24
	自動車卸売業	255	25	2,979	21	149,938	22
	電気機械器具卸売業	162	31	1,440	32	149,223	25
	その他の機械器具卸売業	99	33	926	33	51,229	30
	家具・建具・じゅう器等卸売業	201	22	1,247	23	46,423	22
	医薬品・化粧品等卸売業	216	24	1,716	33	137,552	30
	他に分類されない卸売業	514	22	3,435	26	147,944	29
	小売業計	17,466	24	117,412	23	1,932,530	22
	各種商品小売業	64	29	10,052	17	175,007	20
	織物・衣服・身の回り品小売業	2,380	21	9,607	21	139,991	21
	飲食料品小売業	5,565	28	42,558	24	537,066	23
自動車・自転車小売業	1,527	23	9,413	22	299,240	19	
家具・じゅう器・機械器具小売業	1,628	22	6,912	24	145,783	24	
その他の小売業	6,302	24	38,870	20	635,443	22	
医薬品・化粧品小売業	1,172	26	6,013	24	99,908	24	
農耕用品小売業	256	24	1,258	24	27,109	24	
燃料小売業	1,167	22	7,345	20	248,754	20	
書籍・文房具小売業	676	23	8,885	20	49,907	23	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	402	25	2,582	20	37,606	22	
写真機・写真材料小売業	58	19	263	17	3,102	14	
時計・眼鏡・光学機械小売業	303	23	982	24	11,651	22	
他に分類されない小売業	2,268	20	11,542	18	157,406	17	

2. 市町村別の状況

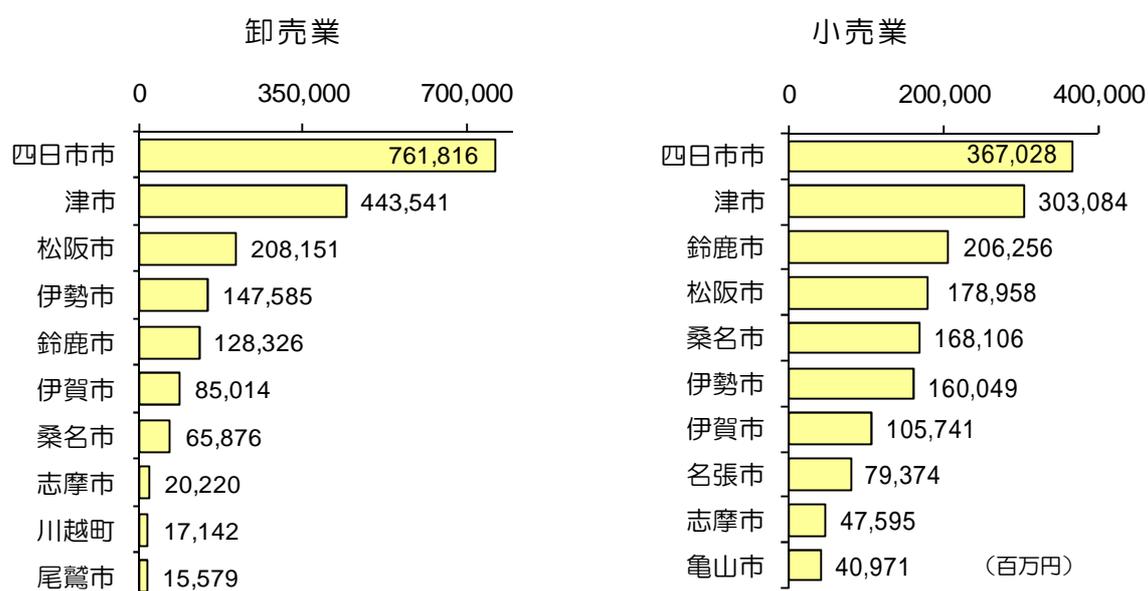
三重県の事業所数をみると、卸売事業所では四日市市が22.9%と最も多く、次いで、津市、松阪市、伊勢市の順となっています。小売商店をみると、1位が四日市市で14.5%、次いで、津市、伊勢市、松阪市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業では1位の四日市市が37.9%を占め、次いで、津市の順となっています。小売業では、四日市市が19.0%を占めており、四日市市と津市が3千億円を超えています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

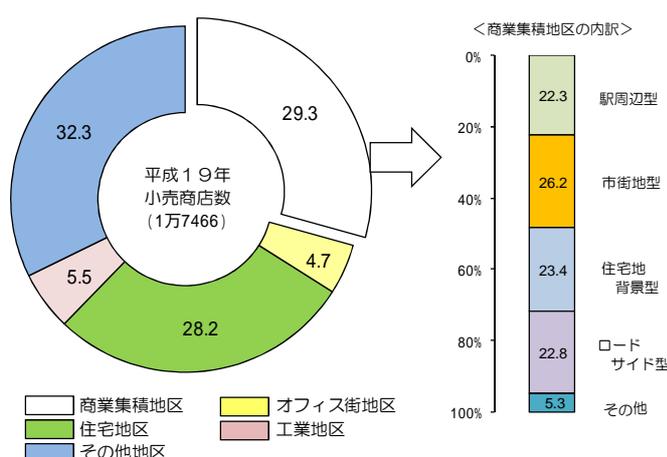


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、その他地区、商業集積地区、住宅地区が30%前後とほぼ同じ割合となっています。商業集積地区の内訳では市街地型、住宅地背景型、ロードサイド型、駅周辺型のいずれも20%を超えており、立地に分散がみられます。なお、ロードサイド型は22.8%と高い割合となっており、アウトレットモールが開業したことなどから商店数も増加しています。



	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	17,466	13.9
商業集積地区	5,116	15.1
駅周辺型	1,141	19.5
市街地型	1,340	20.4
住宅地背景型	1,196	23.2
ロードサイド型	1,168	9.9
その他	271	12.3
オフィス街地区	820	21.4
住宅地区	4,922	13.3
工業地区	966	2.1
その他地区	5,642	14.0

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では2位に「電気機械器具(家電を除く)」、4位に「生鮮魚介」、6位に「軽油」、9位に「他の化学製品」が入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)

